

やきもの展のご案内

LIXILギャラリーは株式会社LIXILの文化活動としてやきもの展を開催しています。タイルから茶碗まで、やきものは私たちの心豊かな暮らしを彩ります。「生活とアート」をコンセプトに、森 孝一氏(美術評論家・日本陶磁協会常任理事)をアドバイザーに迎えたセレクションです。

谷本景展 古代からⅡ

会期:2019年9月3日(火)~11月12日(火)

会場:LIXILギャラリー



「古代から'19 赤い土」

H38.5xW30xD5cm



LIXIL ギャラリーでは2019年9月3日(火)～11月12日(火)の期間、「谷本景展—古代からII—」を開催します。

谷本景氏は伊賀焼の窯元の家生まれ、若き日にはフランス、パリで銅版画を学び、古伊賀の伝統の中に独自の現代性を表現する作家です。これまでも茶道具などの他に、銅鐸をイメージして生まれた、土に埋もれて朽ちかけるものの美を表現した造形作品「古代から」シリーズを制作してきました。

本展では、さまざまな土の表情を矩形の支持体である陶板に表した新シリーズから10点を展示します。



「古代から'18 土」

H40xW31xD4cm

開催概要 | 谷本景展 古代からII

会期	2019年9月3日(火)～11月12日(火)
休館日	水曜日
開館時間	10:00～18:00
企画制作	株式会社 LIXIL
会場	LIXIL ギャラリー
入場料	無料
詳細	https://www.livingculture.lixil/topics/gallery/g3-1909/

| 関連企画 | アーティスト・トーク

本展のアドバイザーである森孝一氏が谷本景氏へインタビュー形式でトークを行います。

開催日時 2019年9月3日(火) 18:00～18:30

会場 LIXIL ギャラリー

| 展覧会の見どころ |

本展では谷本景氏の2018年より新たに始まった陶板のシリーズ10点を展示します。陶板は1点40×30cm程で、大地が乾燥してひび割れたようなもの、磨かれた黒石に白く粉がふいたようなもの、真っ赤に燃える溶岩が冷え固まる途中のようなものと、迫力のある土の表情を表現した圧倒的な存在感が見どころです。

家業の伊賀焼を継承しながら、一方で絵を描き、今日も平面作品の制作を続けている谷本氏。これまでの代表作「古代から」シリーズでは、銅鐸のかたち、長い歳月土に埋もれ、腐食し朽ちかけゆく美を見出し、そこへ馳せる想いを独自の洗練された現代性で表現してきました。

新作ではより平面に近い矩形の支持体である陶板に、大地の力そのものを濃厚な密度で表現しています。

| 作者略歴 | 谷本景 (TANIMOTO Kei)

- 1948 三重県伊賀市に陶芸家・谷本光生の長男として生まれる
- 1970 美濃にて日根野作三、加藤仁に師事
- 1972 伊賀三田窯にて作陶
- 1973 パリのウィリアム・ヘイターのアトリエ 17 にて銅版画を学ぶ
- 1976 陶芸展 (パリ・フランス)
- 1977 ギメ東洋美術館にて陶芸作品によるデモンストレーション (フランス)
帰国後、三田窯を継承、以後、全国各地で個展開催
- 1978 個展 (池袋三越／東京)、「伊賀・信楽二人展」 (小田急／新宿・東京)
- 1980 「伊賀・信楽新作展」 (松坂屋／静岡)、「景茶陶展」 (益田屋／東京)
「光生・景茶陶展」 (大丸／高知)
- 1981 「光生・景茶陶展」 (玉屋／福岡)
- 1982 「伊賀・信楽二人展」 (赤坂グリーン・ギャラリー／東京)
個展 (三越／新潟)
- 1984 「光生・景・洋・三人展」 (大丸／福岡)、個展 (池袋三越／東京)
- 1986 親子展 (岩田屋／熊本)
「三重の茶・花器展」 (三重県立博物館[現・三重県総合博物館]／三重)
個展 (野村美術館／京都)
- 1987 親子展 (大丸／福岡)
- 1988 「陶芸百選展」 (高島屋／大阪、東京)
- 1989 「土来花来」展 (マスダ・スタジオ／東京)
- 1990 明治村茶会 (犬山・愛知)
- 1991 「伊賀・信楽展」 (香雪美術館／兵庫)、個展 (松坂屋／横浜・神奈川)
- 1994 「伊賀陶芸会展」 (三重県立美術館／三重)
「三重陶芸作家展」 (近鉄百貨店／四日市・三重、1996 年)
- 1996 「茶の湯と野の花の出会い展」 (玉屋／佐賀)
- 1997 「三重の作家たち展」 (三重県文化センター／三重)
- 1999 個展 (高島屋／京都、2004 年、近鉄百貨店／名張・三重)
- 2000 NHK「やきもの探訪」出演
- 2001 個展 (小倉玉屋／北九州・福岡)
- 2002 個展「壺と華」 (名鉄百貨店／名古屋・愛知)
- 2003 「工芸家の大正・昭和・平成展」に出品 (三重県文化会館[現・三重県総合文化センター]／津・三重)、個展 (和光／銀座・東京)
- 2004 「現代伊賀・信楽陶芸展」 (大丸／大阪)
- 2005 「東海の陶芸」展 (名古屋・愛知)
- 2007 個展 (大丸／大阪)
- 2008 個展 (大丸／東京)
- 2011 個展 (フランクフルト・ドイツ、2013 年)
- 2014 「『古代から』谷本景」 (現代美術 艸居／京都)
- 2015 個展「谷本景展 古代から」 (LIXIL ギャラリー／東京)
- 2018 個展 (京王／東京)
- 2019 「谷本景展『Since ancient times 古代から』」 (伊勢現代美術館／三重)



LIXIL は、創業期のクラフトマンシップを今に語り継ぎ、常に建築家やデザイナーと手を携え、機能性と洗練された美しさの融合を追求してきました。それこそが、私たちが掲げる「LIVING CULTURE」というコンセプトです。私たちはミュージアム、ギャラリー、資料館および出版活動を柱とした文化活動を通して、ものづくりの技と心を次世代に伝え、斬新なアイデアを発信する場を提供し、LIVING CULTURE を表現していきます。LIXIL は、ものづくりにこだわり、ライフスタイルや時代に合った美しく機能的な製品を作り続けることで世界中の人びとの豊かで快適な住生活の未来に貢献していきます。